

あかの 市議会だより

第67号

令和8年
6月定例会号
令和8年7月15日 発行

主な内容

議案ピックアップ・議決結果	P1-2
常任委員会の活動報告	P3
市政を問う一般質問(13人)	P4-7
次回定例会の予定ほか	P8



道の駅あかのにモニュメントが設置されました。
阿賀野市に関連するさまざまな図柄とごずっちょがデザインされたこのモニュメントは、絶好のフォトスポットとなっていて、子どもたちからも人気となっています。道の駅あかのを訪れた際は、五頭連峰をバックにかわいいモニュメントと撮影してみませんか。

4月22日に臨時会が開かれました

6月定例会が6月1日～ 6月12日の会期で開かれました

1日 本会議

- 一般行政報告
- 議案の提案説明
- 一般質問1日目（5人が質問）



2日 本会議

- 一般質問2日目（6人が質問）



3日 本会議

- 一般質問3日目（2人が質問）



5日、8日 各常任委員会

- 委員会に付託された議案等を審査



12日 本会議

- 各委員会の審査報告の後、討論を経て採決 ※議決結果は2ページ

議案ピックアップ

提案された議案について、さまざまな視点から審議を重ねます。
4月22日の臨時会で審議した議案の中からお知らせします。

4月22日臨時会

一般会計補正予算(第1号)

主な内容

○小中学校長寿命化等改修事業費

8,400万円

4月9日に入札を執行した学校屋内プール整備工事について、一部工事が契約成立に至らなかったことを受け、あらためて発注事務を進めるに当たり、最新の単価改定等を反映させる必要があることから、追加費用を計上。

工事請負契約の締結について(学校屋内プール整備工事(機械))

水原小学校の屋外プールを解体し、その跡地に学校屋内プールを整備するため、制限付一般競争入札に付した学校屋内プール整備工事(機械)について、安田・松田設備工業特定共同企業体と1億5,455万円で契約を締結するもの。

議案ピックアップ

提案された議案について、さまざまな視点から審議を重ねます。
6月定例会で審議した議案の中からお知らせします。

6月定例会

一般会計補正予算(第2号)

主な内容

- 農林水産業総合振興関係事業費 3,168万円
米の生産コスト低減や意欲ある農業者の育成を図るために実施する事業経費に対する補助費を計上。
- 地域クラブ活動推進事業費 72万円
部活動の地域展開の加速化に対応するため、講師関連費用を計上。

阿賀野市介護保険条例の一部改正について

介護保険法施行令の一部改正に伴い、令和8年度の介護保険料算定に限り、一定の給与収入額の範囲を対象として令和7年度税制改正による給与所得控除額を適用できるようにするため、所要の改正を実施。

財産の取得について(タブレットパソコン及び附属機器)

国が推進するGIGAスクール構想に基づき、第1期として令和2年度に整備した小学校児童・中学校生徒用タブレットパソコンのうち、小学校児童用1,873台と附属機器等一式を更新して取得。

工事請負契約の締結について(学校屋内プール整備工事(建築))

水原小学校の屋外プールを解体し、その跡地に学校屋内プールを整備するため、制限付一般競争入札に付した学校屋内プール整備工事(建築)について、小菅・安田・研創特定共同企業体と7億9,640万円で契約を締結するもの。

4月臨時会、6月定例会の議決結果をお知らせします

全会一致で議決した議案等

4月22日臨時会

議案名		審査した委員会※	議決結果	議案名		審査した委員会※	議決結果
専決処分	阿賀野市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の一部改正について 令和8年3月31日専決	省略	承認	補正予算	令和8年度阿賀野市一般会計補正予算(第1号)	省略	可決
	阿賀野市国民健康保険税条例の一部改正について 令和8年3月31日専決	省略	承認	その他	工事請負契約の締結について(学校屋内プール整備工事(機械))	省略	可決
	阿賀野市税条例の一部改正について 令和8年3月31日専決	省略	承認		工事請負契約の締結について(京ヶ瀬中学校グラウンド等整備工事)	省略	可決
	令和7年度阿賀野市一般会計補正予算(第11号) 令和8年3月31日専決	省略	承認				

6月定例会

議案名		審査した委員会※	議決結果	議案名		審査した委員会※	議決結果
人事	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて (田村 あつ子 氏、田邊 里恵 氏)	省略	適任	その他	損害賠償の額の決定及び和解することについて	総文	可決
補正予算	令和8年度阿賀野市一般会計補正予算(第2号)	総文 産厚	可決		工事請負契約の締結について(消防緊急通信指令施設更新工事)	総文	可決
	令和8年度阿賀野市一般会計補正予算(第3号)	省略	可決		工事請負契約の締結について(学校屋内プール整備工事(建築))	省略	可決
	令和8年度阿賀野市病院事業会計補正予算(第1号)	産厚	可決		財産の取得について(タブレットパソコン及び附属機器)	総文	可決
	令和8年度阿賀野市病院事業会計補正予算(第2号)	省略	可決				
条例	阿賀野市印鑑条例の一部改正について	産厚	可決	※省略：本会議で即決したもの 総文：総務文教常任委員会 産厚：産業厚生常任委員会 ◆各常任委員会における審査結果は、市ホームページで見ることができます。			
	阿賀野市職員等の旅費に関する条例の一部改正について	総文	可決				
	阿賀野市介護保険条例の一部改正について	産厚	可決				
	地方自治法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例の制定について	総文	可決				

常任委員会の活動

総務文教 常任委員会

総務部と民生部が所管する市政全般の企画・調整、財務、市税、防災、教育、生涯学習等に関する調査や議案・請願等の審査を行います。

令和8年4月15日に所管事務調査を行いました

図書館の活用状況について

市内公共図書館の概要

市内に公共図書館・室は中学校区ごとに1施設ずつ合計4施設あり、京ヶ瀬地区にある阿賀野市立図書館を本館としています。各施設とも図書の収集と除籍を計画的に行い、適正な蔵書構成を維持しています。図書の貸出実績は一部減少が見られる一方、入館者数は増加傾向となっており、図書館の利用形態が多様化しています。

図書館の事業について

図書館では、市民の読書習慣の形成と子どもの読書活動を社会全体で支援し、推進していくことを目的として、小学校への訪問による「出張おはなし会やDVD上映会」「新春シネマクラブ」などの事業を実施しています。

今後の方針について

図書館の利用形態は多様化していますが、子どもの読書活動の推進や地域における読書環境の維持といった役割は引き続き重要であると認識しているため、利用ニーズの変化を踏まえながら、より多くの市民に利用される図書館となるよう、サービスの充実と事業の見直しに取り組んでいきます。

学校図書館の概要

学校図書館は、児童生徒の読書・学習のための機能と、指導のための研究文献や図書の活用といった教員の学習指導をサポートする機能を併せ持つ施設として位置付けられているほか、児童生徒にとって校内での心の居場所となっている一面もあります。

図書の購入と廃棄は基準に沿って行われていますが、蔵書数は一部の学校で文部科学省が定める基準を満たしていないため、今後計画的な購入を進めていきます。

司書について

学校図書館の専門的職務を担う教員として、学級数が12以上の学校に配置義務がある司書教諭を、学級数が12に満たない学校にも配置しており、読書活動の企画や学校図書館の運営方針の決定を行っています。学校図書館専任の事務職員である学校司書の配置は、努力義務とされており、市内の学校では配置されていない状況です。

今後の方針について

小中学生のスマートフォン所有率の上昇や、学校教育へのタブレット端末の導入で、子どもの本離れ・活字離れが懸念されています。学校図書館は、児童生徒が学びを深めるために必要不可欠な施設であるため、今後も他の学校施設と同様に必要な整備・更新を行っていきます。

質疑・委員会意見

説明を受けた後、委員からは、学校での司書教諭の労務負担や学校図書館の蔵書数の不足と図書購入の予算、阿賀野市立図書館ギャラリースペースの活用状況等について質疑がありました。

以上のことから、委員会の意見としては、公立図書館・室、学校図書館共に市民や児童生徒の学習の場・憩いの場であるため、図書の整備・充実のための予算確保と、学校における司書教諭の負担軽減のため、専任の学校司書配置を望むことで意見集約されました。



産業厚生 常任委員会

民生部と産業建設部が所管する福祉、介護、子ども、保健、医療、環境、道路、河川、商工業、農業、観光、公園、上下水道等に関する調査や議案・請願等の審査を行います。

令和8年4月17日に所管事務調査を行いました

介護保険事業の状況について

第9期介護保険事業計画等の状況について

○要介護・要支援認定者

令和5年までは高齢化の進展に伴い増加傾向でしたが、令和6年から減少に転じています。

○介護保険給付費の推移

介護給付費についても、令和5年度まで増加していましたが、令和6年度から減少に転じています。

○主要サービスの推移

介護予防ケアプランの作成を担う介護予防支援を除き、訪問介護などの在宅サービスは減少傾向となっています。

○サービス基盤の整備状況

訪問介護1か所、通所介護3か所の減少となっています。令和7年3月末現在、市内の特別養護老人ホームに申し込みをしている市民が74人となっています。

○地域包括ケアシステムの深化・推進事業の進捗状況

できていたことができなかった高齢者が、自信と意欲を取り戻し、元の生活を送ることができていることを「阿賀野市の目指す姿」とし、介護予防の充実や元気な高齢者を増やし、誰もが安心して生活で

きる地域づくりを進めています。

○介護予防支援・介護予防ケアマネジメント事業

要支援1・2または事業対象者に対し、介護予防・自立支援の理念に基づき適切なケアプランの作成を行うもので、令和6年度は要支援認定者のうち、57.4%の人がサービスを利用しました。

第10期介護保険事業計画の策定に向けて

令和9年4月からの第10期介護保険事業計画の策定は、団塊ジュニア世代が65歳を迎える令和22年を見据えた中長期的な備えを組み込むことが求められています。何を重点課題とし、どのようなサービス提供体制の整備とするのか、市の実情に即した計画となるよう検討を進めていきます。

「アジャイル型地域包括ケア」の取り組み

高齢者が自信と意欲を取り戻し、元の生活に戻れるような支援を目指しています。「要支援」とは元の生活に少しでも近づき、元気になってもらうための認定と位置付け、そのための支

援をリエイブルメントとしています。リエイブルメントについては、地域包括支援センターが中心となり、元の生活を取り戻す支援を進めています。

【主な質疑】

委員からは、特別養護老人ホームの利用状況や訪問介護の報酬削減に係る事業所の運営内容、通所介護事業所が減少している中でのサービスの確保、リエイブルメントが事業者や利用者にと与えるサービスの出し渋りという印象などの質疑がありました。

【意見集約】

市が取り組んでいるアジャイル型地域包括ケアについて、市からの一方的な取り組みにならないように、リエイブルメントの考え方について、サービスの利用者やサービス提供事業者と認識を共有し、三者が一体として取り組んでいくことが必要と意見集約されました。



閉会中の継続調査事項（9月定例会まで）

市内の遊休資産（普通財産）の状況について

閉会中の継続調査事項（9月定例会まで）

事業承継の現状と課題について



無会派
清野 栄一



第6次「学校図書館図書整備計画」について

質問 文部科学省は、令和4（8年度）で小中学校等に計画的な図書の購入、学校司書の配置拡充等を目的として地方財政措置（5か年で2,400億円）を講じており、これへの対応状況について伺う。

答弁 令和6年度以降の図書費は交付税の8割程度の予算措置を行っているが、司書の配置には対応していない。

質問 読書の効果は語彙力や読解力を向上させ、的確な判断力の醸成に繋がると思うが。

答弁 読書環境の充実にはでき



新風あがの
披田野勝幸



「負の公有財産」防止対策について

質問 老朽化・荒廃化する「公有財産」が増加傾向にあり、空き家問題同様「負の公有財産」を次世代に残してはならないが、現状と今後の発生抑制策、活用・処分方針について伺う。

答弁 公共施設等総合管理計画・第1期アクションプランを定めて対策を進めている。

各施設の利活用・処分は、行政改革推進委員会の答申を参考に組みを進めている。

また、市民ニーズや利用実態を考慮し、類似施設の共有化や民間企業からの活用、荒廃施設

るだけ対応したいが他の要望もある。

質問 司書分、計算すると小中合わせて1,250万円以上の交付税が来ている。

答弁 司書の配置は小学校からの要望もあり前向きに検討していく。

通学バスについて

質問 バス運転員の健康管理と高齢運転員への対応と状況（北越高校の事故を受け市民から懸念の声があった）。

答弁 労働安全衛生法に基づく健康状態の把握、運行管理者による乗務前の点呼など、今後、高齢の方には日々の体調変化等の確認も行う。高齢運転員の状況は65〜74歳が14名、75歳以上が7名。

瓢湖の環境保全等について

質問 要望していた北東側排水堰が復旧、腐水の排水促進効果

の解体等を行い、将来の維持管理費の負担軽減に努める。

土砂災害・洪水危険箇所の対策について

質問 市は集中豪雨などに伴う土砂災害警戒区域や河川氾濫危険区域をハザードマップとして市民に周知しているが、これら危険箇所の土砂災害防止工事や河川改修などのハード整備面をどう進めるのか伺う。

答弁 土砂災害防止施設は、県が順次整備し定期点検をしている。また、阿賀野川の河川改修は国が、安野川等一級河川は県が整備している。

治山事業は、林野庁や県が主に組み組んでおり、市として今後も国や県に対し整備促進を要望していく。

を期待しているが、以下について伺う。①夏場の渇水対策。②ヘドロの堆積状況と対策。③排水路江澄いが必要。

答弁 ①排水口を絞って確保している。②昨年は1年で6センチ増の39cm。③今年度から計画的に実施する。

質問 ①夏の取水の確保が必要、昨年アオコやアオミドロが大発生。②ヘドロの除去が必要。③環境省や県のレッドリスト指定の植物やトンボ類など危惧される状況にあるが。

答弁 ①取水の確保の検討をする。②今年度試験的に実施する。③配慮したい。



保健と福祉の「総合相談窓口」について

質問 近年、精神疾患や身体機能低下など複合的な課題を抱える世帯が増加していることから、市は本年度から地域保健課に保健と福祉の「総合相談窓口」を設置したが、職員体制や市民の問い合わせ対応について伺う。

答弁 各分野に配置していた保健師を集約し、支援体制を強化した。相談件数は4月だけで約400件の相談があり、適切に対応している。今後とも関係部署等と連携し、複雑化・多様化する地域課題に対応していく。



新風あがの
阿部 順三



害獣の出没情報と山間集落の空き家状況について

質問 市内では、昨年秋ほど出沒情報がないようだが、春グマやほかの害獣も含め出沒情報はあるのか。本年度は、空き家・空き地における柿の木等の伐採も条件付きで可能になり、予算も付いたが、進捗状況を伺う。

答弁 害獣出沒情報は、サルが0件・イノシシが7件・クマが2件であり、捕獲はサルが1件・イノシシが5件・クマが5件・シカが1件である。今後、出沒情報は増加すると予想されるが、人命や農作物への被



無会派
遠藤 智子



街路樹の点検について

質問 国策定の自治体向け「街路樹点検の実施促進のためのガイドライン」には、近年の街路樹の老木化や異常気象の頻発化に伴う倒木等による事故発生防止など、道路利用者等の安全確保や環境政策における街路樹の役割強化が挙げられている。本市も街路樹の管理の必要箇所が見られるが、ガイドラインを活用した環境整備の検討を伺う。

答弁 市道の街路樹は「道路緑化木台帳」で樹種、本数を管理しており、職員の定期的な道路パトロールや自治会・市民から

害を防止するため関係機関と連携し、クマの出沒情報があった場合は、安全安心メール、防災無線、広報車などで注意喚起等を行う。空き家・空き地の放任果樹伐採事業の取り組みについて、昨年度は7本の放任果樹を伐採し、今年度も90万円を予算計上して事業を行う。



自転車の交通反則通告制度について

質問 令和8年4月1日から、安心・安全な自転車利用を促進するため交通反則通告制度が導入された。これに伴い、警察、

の通報等により、必要に応じて剪定や伐採を行っている。市としては、街路樹点検の実施促進のためのガイドライン等を参考に、街路樹の維持管理を含めた環境整備を進めたい。

学校図書館整備について

質問 文部科学省の第6次「学校図書館図書整備等5か年計画」では、全ての公立小中学校等に学校図書館図書標準の達成を目指すとともに、計画的な図書の更新や新聞の複数紙配備、学校司書の配置拡充を図るため、5か年総額2,400億円が地方財政措置されているが、市の対応を伺う。

答弁 図書の整備については、真に学習に役立つ良質な最新図書への更新と、デジタル資源と紙の図書の利点を融合させたハ

交通安全協会と協力し、市民への周知徹底を行ってほしい。また、市道の点検・整備も必要と考えるが、歩道走行区分や一時停止など道路ペイントの整備などの計画があるのかを伺う。

答弁 自転車の交通反則通告制度（青切符）の取り締まりが始まった。阿賀野警察署、阿賀野市交通安全協会と協力し、交通ルールの啓発活動を実施する。市道の整備についても警察、交通安全協会と合同で施設点検をしていく。歩道走行のペイント整備は計画にないが、必要に応じて随時補修する。この制度を正しく理解してもらうため、市ホームページ、SNS等を活用し、情報発信や交通安全教育、広報活動を実施する。

イブリッドな学習環境の構築を進めていく。新聞の複数紙配備については、活用実態の精査やデジタル版の活用検討も含め、調べ学習等において最も教育効果が高まる形での配備を目指す。学校司書の配置については、現在、全小中学校に配置していない状況で、継続的な財政負担や人材の確保といった課題があるが、小学校現場から切実な要望もあり、引き続き検討を進めたい。





日本共産党
宮脇 雅夫

憲法9条を生かし、 平和外交の推進を

質問 昭和22年、平和主義をいっそう徹底した、世界に例のない日本国憲法が生まれた。憲法第9条第2項は「陸海空軍その他の戦力は、これを保持しない」「国の交戦権は、これを認めない」と高らかに宣言した。日本が広島、長崎の被爆を経験し、再び戦争をすれば核兵器が使われ、人類が絶滅するという時代認識があり、昭和6年に中国への侵略戦争を開始し、第2次世界大戦にいたる侵略戦争の火蓋を切った国として、重大な国際的責任を負っていたからで



日本共産党
松崎 良繼

PFAS汚染の調査を

質問 PFASの日本の基準は、米国の規制基準の6倍以上という緩い基準になっている。規制を遅らせて被害を拡大した水俣病の教訓を生かして、欧米並みの規制と健康調査に国が乗り出すべきと考えるが見解を伺う。

答弁 基準値は内閣府食品安全委員会の評価結果を踏まえたもので、科学的知見に基づき安全側に立った数値だということだ。

質問 安全委員会の評価は、がんと胎児の体重低下など様々な健康への影響の可能性を認め

ある。

日本国憲法の平和主義は、国民の痛苦の経験から生み出された財産であるとともに、再び戦争はしないというアジア諸国民への誓約であり、戦後日本が国際社会で外交をしていくための土台である。今こそ、この憲法9条を生かし、平和外交を推進すべき時だと思うが、市長の見解は。

答弁 憲法に掲げられた平和主義は、戦後の我が国の平和と繁栄に大きく寄与してきたと認識している。憲法の在り方や外交、安全保障政策は、国政で十分に審議が尽くされるべきもの。

全ての図書館に 司書の配置を

質問 司書は、資料・情報を適切に選択できるよう利用者に協力、支援する役割があり、司書

が図書館業務に専念できる体制や豊かな経験を蓄積できることが、図書館サービスの力ナメ。全ての市立図書館・室、学校図書館に司書の配置をすべきだ。

答弁 安田・笹神図書館は司書を配置していないが、市立図書館職員が業務をサポートしている。全ての学校では、教諭が司書を兼務しているが、多忙のため、学校司書を配置し複数校を巡回するなど支援体制を検討する。



入札制度の改革を 求める

質問 通学バス運行業務入札での混乱は、参加業者から出された最低の見積額を予定価格に設定する方式に原因があると思われる。建設工事の一部で取り入れているように、見積りの平均額を参考に予定価格を設定する方式に改革すべきでは。

答弁 見積により予定価格を設定する建設工事では、4月から見積の平均値直下の価格を予定価格として採用しているが、役務の提供については、現時点では見積の最低値を採用している。今後検討していく。



新風あがの
天野美三男

阿賀野市の防犯・安全対策について

質問 最近はSNSを悪用した強盗・詐欺や犯罪の低年齢化も見られ、社会生活に不安を感じる。また、全国では、14歳以下の子どもが毎年200人ほど事故で亡くなっている。保護者の事故防止意識を高め、教育・保育施設等の事故防止に取り組み必要があるが、対策について伺う。

①市内通学路対策箇所の対応と要望状況
②通学路や危険と思われる交差点等における白線引き直しの進捗状況



無会派
天野 市榮

中学校部活動遠征時の移動について

質問 5月6日に磐城自動車道で発生した北越高校男子ソフトテニス部のマイクロバス事故は、新聞やテレビ等のマスメディアで連日大きく報道された。今回のような死傷事故を繰り返さないためにも国や自治体などは喫緊の対応が求められている。本市においても今回の事故を教訓にして改善すべき点が多々あると思われるがどうか。

答弁 今回の事故について非常に強い危機感を持って受け止めている。事故後、市内小中学校や市の認定地域クラブに対し、

③見守りカメラと保育園・認定こども園、小中学校等における防犯カメラ設置状況

答弁 毎年4月に各学校から通学路等の危険箇所について報告をいただいている。今年度は5月に全ての小学校で合同点検を実施し、速やかに対処している。見守りカメラは、令和7年度末時点で市内23か所に設置。市内の認定こども園・保育所は77台、児童クラブは26台の防犯カメラを設置。安田小学校・京ヶ瀬小学校・水原中学校にも防犯カメラを設置している。

物価高による観光施設の影響について

質問 コロナ禍収束後、旅行意欲に変化の兆しが見られるようになったが、最近の物価高での観光地の影響を伺う。
①五頭温泉郷の宿泊施設の影響

②観光施設等の客層

答弁 宿泊客数は持ち直しの傾向にあるが、物価高により旅行を控える動きや、宿泊日数の短縮など消費額を抑える動きがある。また、日帰り利用や短期滞在利用が増加している。客層は、遠方や近隣地域からの個人客や家族連れ、小グループでの来訪が増加している。今後も五頭温泉郷の魅力発信や誘客に努める。



いて伺う。

答弁 総務省の調査では、本市の空き家は2,760戸であるが、空き家の活用として「空き家リフォーム支援事業」や「空き家・空き地バンク」への登録制度を、住宅建て替え支援として「空き家解体支援事業」や「虹の架け橋住宅取得支援事業」を実施している。また、空き家解体後の空き地については、空き家・空き地バンクへの登録を推奨している。

空き家等の 利活用について

質問 総務省が実施した令和5年度住宅・土地統計調査で明らかになった住居目的のない空き家が増加傾向にある要因として、専門家は①人口減少・世帯減少という「土台の変化」、②団塊世代の高齢化・大量相続の発生、③住宅の「量」が多すぎる(供給過多)などを挙げている。特に団塊の世代が社会人になった1970年から80年代に建てられた戸建てが一斉に老朽化し、所有者が死亡・施設入所した結果、相続されたものの「住まない・使わない家」が大量発生したことを指摘している。本市における空き家の現状と対策につ





公明党
村上 清彦

水原駅前周辺地区 まちづくり事業 について

質問 水原駅前は市の玄関口として重要な役割を担っており、人口減少や地域経済の縮小が進む中、駅前機能の再構築と地域活性化が課題である。駅を単なる通過点ではなく、人が滞在し、若者から高齢者まで利用しやすく、公共交通とまちづくりが一体となった拠点とするため、①プロジェクトチームの体制と役割分担、②駅前地区に導入する機能や施設整備の方向性と地域経済活性化への考え方、③住民

や商店街等の意見反映の方法、④官民連携による持続的なにぎわい創出策について伺う。

答弁 本年度制定した「阿賀野市プロジェクトチーム設置要綱」に基づき、建設課、総務課、まちづくり政策課で構成するプロジェクトチームを設置し、水原駅前周辺地区の魅力向上に向けたハード整備を含む施策の方向性を示す「構想」の検討・策定を進める。庁内関係部署に加え、県やＪＲなど関係機関と連携し、にぎわい創出や地域経済活性化の視点を踏まえた実効性ある構想づくりを進める。また、地域関係者や関係機関による検討組織を設置するなどし、官民連携体制の構築を図る予定である。施設整備については財源確保も含め今後の検討課題とし、構想や街路事業の進捗を踏まえ具体化していく。令和６年度の

ワークシヨップでの意見も参考にしながら、市としての基本的な考え方や方向性を整理し、「まちの顔」となる駅前整備に継続的に取り組んでいく。



©NEW KOMETTO



新風あがの
荒澤 浩和

京ヶ瀬中学校 グラウンド等 整備工事について

質問 冬の間の排水工事やグラウンド整備における、リスク想定と品質確保の考え方を問う。また、円滑な施工に向けてどのような対策を講じるのかを伺う。

答弁 学校活動への負担軽減を最優先に考慮し、体育祭終了後に施工を開始する計画である。積雪期間中の作業が困難な排水施設整備やグラウンド舗装については、早期に契約を締結し、十分な準備期間を確保することで、積雪前に完了させたい。施工期間中は、関係者と十分協議

し、円滑な施工に努める。 体育館の利用状況等 について

質問 直近の利用状況や曜日・時間帯ごとの傾向、市内・市外利用者の割合の推移を伺う。

答弁 令和７年度における４つの体育館の利用は、合計１万３５７人で、市内利用者が６９％、市外利用者が３１％であった。施設ごとに違いはあるが、日曜日の午後や夜間の利用が多い。利用できないという声を受け、令和８年４月から「２時間・完全入替制」の導入などルール変更を行い、市民の利用機会拡大を図っている。

京ヶ瀬中学校グラウンドに関するサウンディング型市場調査について

質問 現地見学会への参加件数や提案書の提出件数について伺

答弁 現地見学会に３者が参加し、同数の３件の提案書が提出された。地域交流拠点や子ども向けの遊戯施設などの提案があり、今後は住民説明を経て活用に向けた準備を進める。

農業用機械導入支援事業補助金について

質問 応募や採択の状況、採択におけるポイントの実績を伺う。

答弁 ５８件の申請に対し２６件を採択し、予算執行率は９６・８％となる見込みである。ポイントの実績は最高が３３ポイント、採択ラインは１２ポイントであった。



日本共産党
清水 博英

家庭ごみ有料化(案) は再検討を

質問 ごみ有料化については、昨今の物価高騰の中、市民にとって新たな負担増になる。ごみの減量は、環境保全や暮らしを守る大切な課題だが、生産・流通・販売の各段階で有効な対策を講じることが優先されるべきで、市民負担を課すことは根本的な解決とはならない。家庭から日常的に出るごみ収集、処理責任は自治体の本来的な仕事で、税金により賄うべきものである。有料化については再検討を求める。



運搬及び処分が地方公共団体の自治事務であることを明示しているものの、その費用の負担について全て税金で賄うべきと規定しているものではない。

質問 ごみを減らす決め手は市が正面から市民に協力を求めること。市民や事業者への協力、新たな回収方法など、行政としての役割こそ果たすべきである。

答弁 分かりやすく丁寧な説明を行い、住民の皆さんのご理解をいただきながら、今後の取り組みを進めていく。

五頭登山コースに トイレ整備を

質問 五頭山は、年間を通じて多くの登山者でにぎわっている。全校登山を実施している学校もあり、五頭山の自然環境保護や登山者の利便性・快適性確保のために、登山ルート途中に「組立式トイレ」や「仮設トイレ用ブース」を設けることなどを検討していただきたい。

答弁 トイレ環境の整備については、利用者の利便性のみならず、自然環境保護や公衆衛生の観点からも重要である。維持管理方法や設置場所の選定、景観への影響などを踏まえる必要がある。今後、関係機関や山岳団体等とも連携を図りながら多角的に調査をしていく。



新風あがの
風間 輝榮

し尿処理収集業務 委託について

質問 環境事業公社側が裁判の取り下げを行い、定期的に話し合いをしているが、主要要望は何か。

答弁 業務量の減少に伴う他業務への転換の方策などの意見交換を行っている。公社側の要望は、委託料が中心である。市としても、安定的、継続的な収集体制を確保する必要があり、今後も話し合いを継続していき

物価高対策について

質問 市民生活を支援するため、１人５千円分の生活応援商品券の配布、水道基本料金６か月支援、７月から９月までの国の方針で電気・ガス料金の支援があるが、この他に市独自の支援策は考えているのか。

答弁 介護保険施設や農業、商業への助成、灯油購入費等の助成、省エネ家電への買い換え助成事業を実施している。市独自の支援策は、今のところ具体の予定はないが、円安の影響や世界的なインフレ、中東情勢の影響による品不足や更なる価格高騰も心配されており、国の動向を注視していく。



部活動遠征バス について

質問 今回福島・磐越道で起きた痛ましい事故を教訓に子どもたちの部活動遠征バスの安全運行のために、どのような対策が必要なのか考えるべき。本市の現状はどうなっているのか。

答弁 市内４中学校、３１の部活動の令和７年度の遠征状況は、県内が２５５回、県外が１０回で、市のマイクロスバス２回と他市中学校が手配した貸切バス同乗が１回あった。事故後、市内中学校や認定地域クラブへ、遠征時や校外学習等での移動時の安全確保を徹底するよう通知した。貸切バス事業者等を利用する場合、運行形態の確認や、引率者の同乗、シートベルトの着用、無理のない行程など、安全確保を図っていく。

北信越市議会議長会定期総会

4月23日、ホテルブエナビスタ(長野県松本市)で第101回北信越市議会議長会定期総会が開催され、大滝議長・荒澤副議長が出席しました。

当日は、北信越の69市議会中、67市議会が出席し、会長(松本市議会議長)・松本市長の挨拶の後、長野県知事(代理・副知事)、長野県議会議長、全国市議会議長会長(代理・相談役)から来賓挨拶がありました。表彰、各種報告の後、議案審議が行われ、会長提出議案2件と各県市議会議長会提出議案17件(うち新潟県から4件)が原案のとおり可決され、次回開催市が金沢市に決定しました。

翌日は、松本市議会主催の行政視察に出席。松本市議会議長から「松本市議会における議会改革の取り組みについて」の説明があり、活発な意見交換が行われました。



行政視察で説明を受ける参加者

全国市議会議長会第102回定期総会

5月27日、東京国際フォーラム(東京都千代田区)で全国市議会議長会第102回定期総会が開催され、大滝議長が出席しました。

当日は、全国の815市区議会中、743市区議会が出席し、会長(山形市議会議長)挨拶の後、内閣総理大臣をはじめ衆議院議長、参議院議長、総務大臣、地域未来戦略担当大臣から来賓挨拶がありました。表彰、各種報告の後、議案審議が行われ、部会提出議案26件(うち北信越部会から3件)と会長提出議案5件が原案のとおり可決されました。

役員改選では、大滝議長が全国市議会議長会の地方財政委員会委員に選任され、7月10日、全国都市会館(東京都千代田区)で初回の会議が行われました。



全国から寄せられた議案を審議した定期総会

議会を傍聴しませんか

事前の申し込みは不要です。傍聴席入り口にある受付簿に住所・氏名を記入して傍聴してください。

※体調がすぐれない人は、傍聴をご遠慮ください。
※入室の際は、手指消毒にご協力をお願いします。

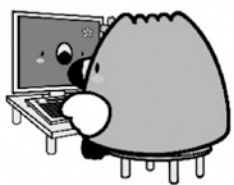


議会の情報は市ホームページをご覧ください

阿賀野市議会

検索

本会議会議録や議員名簿、会議の日程、本会議の中継映像・録画映像がご覧いただけます。
ぜひご利用ください。



●中継はこちら

会議名、議員名、用語などから検索できます。
視聴したいものを選んでクリック！



阿賀野市
イメージ
キャラクター
「ごずっちょ」

EBPM(証拠に基づく政策立案)の推進について

質問 本市においては、予算編成方針等においてEBPMの推進が掲げられているが、その実効性について以下の点を確認する。

①EBPMの位置付けと運用について

本市におけるEBPMの運用実態について伺う。

②データの活用体制について

各分野におけるデータを横断的に連携し、政策立案に活用する体制の整備状況について伺う。



新風あがの
菅原 道明

答弁 本市では、総合計画の示すまちづくりの実現に向けて、PDCAサイクルの手法を取り入れており、施策や事業の実績を数値データとなる指標の形で把握している。事業の立案や見直し、方向性の検討に当たっては、客観的なエビデンスを求め、意思決定の判断材料としているところであり、今後も職員に対する研修等を実施し、EBPMの意識を浸透させたいと考えている。

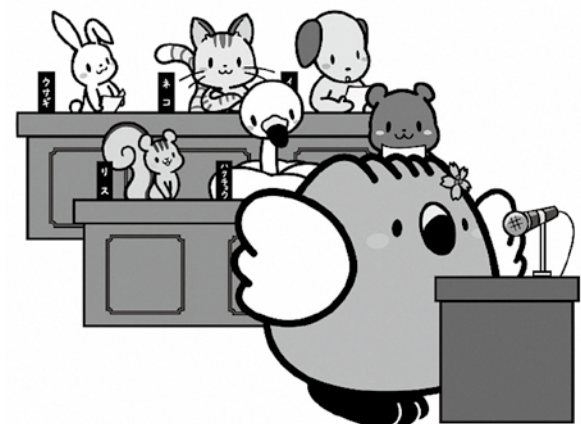
データの活用体制については、一部のデータを職員間で共有している状況にとどまっている。今後、効果的に活用できる仕組みの整備が必要と考えているところであり、引き続き検討を進めていく。



○一般質問は1人当たり60分の持ち時間の中で、質問と答弁のやり取りが繰り返されます。議会だよりに掲載している内容は質問議員がまとめたもので、要旨を掲載しています。

○議員氏名左側の二次元コードをスマートフォンなどで読み取り、市ホームページの市議会映像配信のページを開くと、当該議員の定例会における一般質問のやり取りが視聴できます。

○一般質問の詳細については、会議録または市ホームページでご覧いただけます。6月定例会分は9月中旬に公開予定です。会議録は、市立図書館、各支所、市役所1階ロビーに用意してあります。



令和7年度(4月～3月分)政務活動費の収支を報告します

政務活動費は、議員の調査研究、その他の活動に資するため必要な経費の一部として、条例に基づき会派または議員に対して交付されるものです。政務活動費は1人当たり月額1万5千円が交付され、残額は市に返還します。

令和7年度阿賀野市議会政務活動費 収支報告一覧（4月～3月分）

(単位：円)

項目 会派名・氏名	収 入	支 出											残額 (返還額)
		調査研究費	研修費	広報費	広聴費	要請・陳情活動費	会議費	資料作成費	資料購入費	人件費	事務所費	計	
日本共産党（3人）	540,000	79,619		433,986					27,290			540,895	0
公明党（1人）	180,000		131,760	52,080								183,840	0
大滝 勝	180,000		52,560	51,860					84,840			189,260	0
風間 輝榮	180,000			52,080				32,324	69,937			154,341	25,659
市川 英敏	180,000			51,860					71,793			123,653	56,347
天野美三男	180,000			52,245					52,336			104,581	75,419
遠藤 孝	180,000			52,520					27,880			80,400	99,600
荒澤 浩和	180,000		59,369	51,860					72,240			183,469	0
阿部 順三	180,000			53,620					32,280			85,900	94,100
披田野勝幸	180,000		180	59,206				29,790	45,579			134,755	45,245
菅原 道明	180,000		4,500	101,929					73,482			179,911	89
遠藤 智子	180,000			52,960					116,200			169,160	10,840
清野 栄一	180,000			500,601								500,601	0
天野 市栄	180,000			148,380					20,280		20,130	188,790	0
合 計	2,880,000	79,619	248,369	1,715,187	0	0	0	62,114	694,137	0	20,130	2,819,556	407,299

注）広聴費、要請・陳情活動費、会議費、人件費の支出は、いずれの会派、議員共に0円でした。

次回9月定例会の予定

8月21日の議会運営委員会で正式に決定します。その後、市ホームページ・市公式LINEでお知らせします。

月 日	会 議 名
8月21日(金)	議会運営委員会 (定例会の運営方針決定)
9月 1日(火)	本会議(議案上程、一般質問)
9月 2日(水)	本会議(一般質問)
9月 3日(木)	本会議(一般質問)
9月 7日(月)	総務文教常任委員会
9月 8日(火)	産業厚生常任委員会
9月11日(金)	決算審査特別委員会
9月14日(月)	決算審査特別委員会
9月15日(火)	決算審査特別委員会
9月18日(金)	本会議(委員長報告、採決)

阿賀野川水防工法演習

5月24日、京ヶ瀬工業団地地先にある「阿賀野川防災ステーション」や阿賀野川右岸堤内地で阿賀野川水防工法演習を実施しました。

いつどこで発生するか分からない水害に対処するため、強度のある水防工法の作成方法を再確認するとともに、消防団として組織的に行動する体制を構築する良い機会となりました。



瓢湖あやめまつり

瓢湖あやめ園では、約170品種・30万本の色とりどりのハナショウブが6月中旬に見ごろを迎え、連日多くの見物客でにぎわっていました。園内では「瓢湖あやめまつり」が開催され、6月21日には7年ぶりとなるステージイベントが予定されていましたが、悪天候が見込まれたため中止となりました。



発行：阿賀野市議会
編集：広報広聴委員会
〒959-2092
阿賀野市岡山町10番15号
TEL：0250-61-2489
FAX：0250-61-2067
E-mail：gikai@city.agano.niigata.jp

問い合わせは
こちらから



次号は令和8年10月15日発行の
予定です。

広報広聴委員会
委員長
副委員長

阿部順三 天野市栄 荒澤浩和 遠藤孝一 清野栄一 風間輝栄 清水博英 松崎良繼

編集委員 天野市栄

この里に手まりつつ子供らと遊ぶ春日は暮れずともよし（良寛）
風薫る5月。市内7小学校で一斉に運動会が行われました。私も近くの小学校に出掛けグラウンドを元気に駆け回る子どもたちに感激しました。近所でこのような情景を目にする機会がめっきり少なくなりました。大きめの体操着をなびかせて疾走し、応援合戦では甲高い声を響かせて歌う1年生の姿はとても愛らしく、「カシャ、カシャ」とインスタ映える光景でした。

編集後記

